高蔵寺どんぐりｓ

ふれあいだより

NO 108

2018. 12. 1

ＮＰＯ法人　高蔵寺ニュータウン再生市民会議発行（☎080-4540-3553）

11月の「どんぐりｓカフェ」から

古本市喫茶コーナー、子供らでにぎわう

11月17日の「どんぐりｓカフェ」は、地域交流と本の有効活用を目指し、6月に続き2回目の「古本市＆ガレージセール」を「東部ほっとステーション」を会場に開いた＝**写真**。

前回同様に会場に、役員が手分けして関係者から寄贈された本や雑貨類を運び込んだ。開場の正午からサンマルシェの買い物客ら次々と訪れ、長テーブルに積み上げた本を熱心に選び、10冊ほどまとめて買う人もあった。今回から会場の隅に設けた「無料喫茶コーナー」も好評だった。親が本を選んでいるのを待ってる子供

たちが、楽しそうにおしゃべりしながらお菓子に手を伸ばしていた。来訪者数は前回を上回り、「次回はいつやるのか」「開催日が分かるように掲示してほしい」などの質問が多く寄せられ手ごたえを感じた。　（**明賀　雄二**）

役員会から（11月17日）

●役員会で通常の報告や協議事項の検討の後、藤城理事長から「役員の高齢化が深刻になっている。これからの「どんぐりｓ」のありかたについてみんなと考えたい」と提案があった。10年前に設立した「どんぐりｓ」は当初、シンクタンクとしてニュータウンが抱える問題について協議し、問題解決のための提案、実践といった役割が期待され、「どんぐりｓカフェ」、マスタープランの作成などを実施した。●その後、地域の抱える問題を解決する具体的な活動、実践に軸足を移し農作業を通じ環境を守る「活き活き楽農会」や「すまい＆くらし相談」「魅力ある高森山公園を考える会」などを立ち上げた。また、他の各種団体と交流・支援、地区の夏祭りの参加を進めてきた。●しかし、高齢化などで役員の行事参加率が減ってきている。藤城理事長は「活動の幅を広げるのは困難になっている」と説明。役員からは「できる範囲でやるしかない」「実践活動は楽農会などの団体に任せ、どんぐりｓが脇から支援する形にすべきだ」などの意見も出たが、春の総会に向け協議を深めることになった。　（**明賀　雄二**）

12月の「どんぐりｓカフェ」

テーマ：「バラを楽しむ」
講　師：北　健司氏（春日井ばら会会長）
日　時：12月15日(土)13：３０～16：00
場　所：東部ほっとステーション
（サンマルシェ南館1階）参加費無料

12月の「高齢者＆すまい無料相談」

●電話または直接面談会場にお越しください。
☎080-4540-3553(どんぐりｓ事務局)
面接相談会日時：12月2日（日）、２３日（日）
（いずれも１３:30～１６:００）
会　場：東部ほっとステーション

12月の「大人のたまり場」

日　時：12月12日（水）13:00～16:00
12月26日（水）は休会
会　場：「大人のたまり場」（高森台6丁目東高森台集会所そば）参加費：200円
連絡先：080-4540-3553(どんぐりｓ事務局)

大人のたまり場がお笑いの一席
「どんぐりの家」と共催で落語寄席

「大人のたまり場」と「どんぐりの家」（サービス付き高齢者住宅）の共催による社会人落語家寄席が１１月２３日、どんぐりの家であった＝**写真**。前座として、ハーモニカ演奏家の高森台在住の三浦さんと、どんぐりの家の利用者さんのウクレレの演奏で盛り上げて頂いた。

続いてお囃子太鼓と共に登場した若鯱亭笑天さん。切れのよいセリフで会場を笑いで満たした。落語歴３１年、年間高座数１３０席と引っ張りだこの笑天さん、土日は殆んど高座で埋まり、休みなしで活躍中。会場の５７席が全て埋まる程の盛況振りであった。　**（浪川　昇三）**

私の朝・昼・晩

鉄道史クイズ　その１

ふんいきを少しかえて、鉄道と歴史に興味のある皆さん、クイズを楽しんでください。
日本で最も古くからあったのは，どれか？

①　地下鉄（浅草～上野間）
②　自動改札（回転腕木式・十銭）
③　自動開閉式ドア（上野～桜木町間）
④　夜行列車（新橋～神戸間）

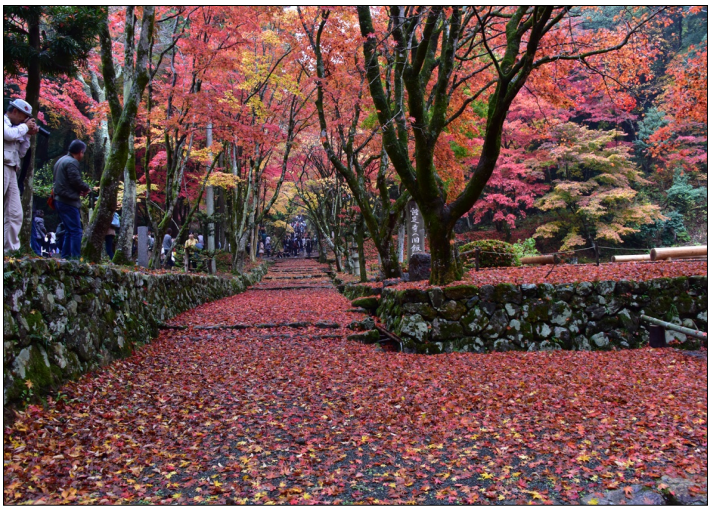
・・・解説あれこれ・・・

①②昭和2年12月30日開通の地下鉄
③大正15年9月26日京浜線で運行開始
④夜行列車は明治22年7月1日運行開始。小説「坊ちゃん」で、坊ちゃんは明治38年9月、新橋ステーションを18時過ぎの夜行で出発、翌日11時過ぎに神戸着。大阪商船20時発の宮崎行で松山外港の三津ケ浜に翌14時ごろ着岸し、軽便鉄道（軌間762㎜）と人力車を乗り継いで松山中学についたと思われる。

☆おまけ鉄道の珍名所クイズ☆

国土交通省認可を受けている日本一短い鉄道200㍍のミニケーブルがある寺はどこか？
運賃は諸堂維持ご寄付の200円とのこと。

（杉山　裕章）



錦　秋（滋賀県鶏足寺）　**森　　健**

秋空の下で楽農会が「芋煮会」

抜けるような青空に恵まれた11月11日、「活き活き楽農会」が玉野地区で、収穫を祝う「芋煮会」を開いた＝**写真**。楽農会が集団で借りている畑の農道に、簡易テーブルと敷物でにわかつくりの宴会場を設け、子供5人を含む24人の参加者が大鍋でサトイモや肉などを豪快に煮込んだ芋煮を堪能。参加者は、畑を眺めながら今年の野菜作りの出来や失敗談に花を咲かせた。後半はビンゴゲームで盛り上がり、野菜作りの意欲を新たにした。

高蔵寺ＮＴで「住宅団地再生」連絡会議

東部市民センターで11月5日、全国の118団体が集い、「住宅団地再生」連絡会議が開催された。市政アドバイザーの服部敦氏の講演の後、高蔵寺ＮＴの「押沢台北ブラブラまつり」の事例紹介や瀬戸市菱野団地の住民バス、名古屋市中区錦二丁目商店街の活動紹介があった。初の地方開催とのことだったが、肝心の地元高蔵寺ＮＴの盛り上がりが無かったのは残念だった。